

一般社団法人 大竹青年会議所



「不易流行」～夢と希望に満ち溢れた輝く JAYCEE を目指して～



二〇一五年度 広報誌 第三号

来年も参加したい！是非開催してください！

今日はとても楽しかったです！ありがとうございました。

子どもがとても喜んでいました。ありがとう。

徐々に(心が)燃えた！楽しかった！

とても良い経験になりました。参加する機会をいただき、本当にありがとうございました。(一般参加スタッフの声)

大竹で(自分と同じ) 青年世代が頑張っていることが知れて嬉しかった。また一緒にやりたい。(一般参加スタッフの声)

『ひと』と『ひと』が互いに興味を持てる交流の場が欲しい！若い世代を中心に大竹市という『まち』を媒体として事業を企画したい！その様な思いでたけりピック2015は計画された。この事業の中で、スタッフ参加者には協議の中でコミュニケーション力を育みながら『まち』への興味を深めて欲しい。競技参加者には事業を楽しみながら、大竹の魅力を感じて欲しい。それら関係者皆が、大竹市内外へ大竹の魅力を浸透させる起点となり、『まち』の更なる発展に繋げたいとの思いから、「たけりピック2015」を開催し、竹を用いた十種目の競技で、多世代が入り交じり笑顔が溢れる充実の一日を過ごしました。この事業を通じて、我々青年会議所会員と同世代の方々とのコミュニケーションを図り、大竹市の仲間として通じ合うことができました。多くの人々と協力関係を築いていくことで、『まち』に活気が生まれると考え、皆さまと共に創り上げた新たな大竹の魅力を、これからも発信していきます。(記事 協同参加型事業企画室担当 委員長 小城和之(取材 日野浩爾))

竹をつかった大運動会 大盛況！

たけりピック2015
日時：七月二十五日(土)
場所：大竹市 晴海臨海公園 球技場
協同参加型事業企画室

【大竹青年会議所ホームページのご案内】

最新の詳しい事業活動の詳細を更新中！！

URL: <http://www.otakejcc.com/2015/>

右のQRコードをご利用ください。



facebook

【facebookでも活動情報を公開中！】

右のQRコードをご利用ください。



一般社団法人大竹青年会議所 2015年 5月～8月 活動報告



紙すき体験コーナーを担当

山の大切さを理解するため、山の日県民の集いが開催され、我々大竹青年会議所も大竹和紙保存会の皆様と協力し、ブースを出展しました。昨年の和紙行灯ライトアッププロジェクトの経験を活かし、来場の方に和紙作りを体験して頂きました。体験者から「絵ががきにしたい」「貴重な体験ができました」などの声を頂き、大竹市の魅力の一つを伝えることができました。
(記事 高橋央史)

山の日県民の集い
日時：六月七日(日)
場所：マロンの里交流館



街頭に立ち 献血呼びかけ

献血事業
日時：五月十三日(水)
場所：大竹会館

大竹市献血推進協議会の一員として、大竹会館前にて市民の皆様へ献血の呼びかけを行いました。多くの方にご協力頂いたこと、心より感謝いたします。今後も何卒ご協力よろしくお願ひします。
(記事 日野浩爾)

青年会議所の基本理念 修練 奉仕 友情

【JC三信条】

1. 個人の修練 2. 社会への奉仕 3. 世界との友情

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき、会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。

【JC宣言】

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き、個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する。

【綱領】

われわれ JAYCEE は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

会員募集

私たちは、新たな仲間を求めています！

20歳～40歳までの青年としての貴重な年月、共に研鑽と成長を重ねる、友情の日々を歩みませんか？
あなたの参加を会員一同、いつでも歓迎いたします！

メンバー紹介：委員長Q&A

Q1：青年会議所の楽しさ

Q2：読者の方に一言



総務広報委員会委員長
藤野 広志君

A1：青年会議所の楽しさは、人との出会いにあると思います。JCでしか体験できないことが沢山あり、厳しさもあり、自分にとって成長の機会となります。その過程で何よりも仲間ができることが楽しさです。
A2：大竹青年会議所をこれからも宜しくお願ひ致します。



地域創生委員会委員長
小城 和之君

A1：多くの出会い、多くの人と仲間になり、多くの経験が出来ることだと思います。また、三信条のもとに様々な活動を通じて意識が変わる自分が発見できることです。
A2：沢山の経験を積める機会が大竹青年会議所にはあります。その中で、楽しいことや辛いこともあります。それがまた経験かなと思います。



指導力開発委員会委員長
網代木 秀太君

A1：青年会議所の楽しさは、委員長をすることでわかります。自分が成長したと感ずることができるところです。
A2：大竹市を一緒に盛り上げていきませんか！

<編集後記>

残暑の厳しい季節となりました。体調を崩さぬよう気を付けたい時期でございます。さて、既に一年も大半が過ぎ、我々大竹青年会議所においても、年当初に企画した例会・事業の多くが誌面の通り、既に実行されております。幸いなことに、多くの喜びの声を頂いており、加えて関係者皆が怪我や病気を患うことなく完遂できたこと大変うれしく思っております。今後も明るい未来を目指し邁進致しますので、市民の皆様、ご理解ご協力、何卒宜しくお願い致します。手に取って頂き、ありがとうございました。

《広報誌・活動・入会に関するお問い合わせ先》

一般社団法人 大竹青年会議所事務局 (大竹商工会議所内)
広島県大竹市油見三丁目18番11号
Tel 0827-52-8006
発行者 総務広報委員会

六月・八月公開例会 指導力開発委員会
 日時：六月八日(月)・八月七日(金)
 場所：大竹市 大竹商工会議所四階ホール

堅実な経営を目指し 戦略を学ぶ

六月例会は、講師 篠原敦子税理士をお招きし、四月例会で学んだ損益計算書を踏まえ、キャッシュフロー計算書を学ぶ講演会を開催しました。「損益計算書上で黒字になっても、キャッシュがないと会社は倒産に追い込まれる」「黒字なのにいつも資金繰りに追われる」そのような状況はなぜ起こるのか、その問題を解決する現金管理の方法として、キャッシュフロー計算書を利用し自社の資金状況を理解する重要性を学んで頂く為に開催致しました。

八月例会は、四月例会、六月例会で学んだ内容を踏まえ、損益分岐点を見いだす重要性について学び、今後の経営戦略を立てる為の講演会を開催。経費の固定費と変動費を把握した上で、どの程度の売上があれば利益が出るのか、売上げ目標を達成する為にはどうしたらよいか等の戦略を考える内容になりました。

指導力開発委員会としては八月例会が最後の担当例会でした。三回の例会を通じて参加者の皆様に多くのものを持ち帰って頂いたことと思います。九月に開催した三回目の勉強会では、更に深く損益分岐点について学び、皆様の経営戦略に役立てて頂きました。今後も企業人としての能力・資質向上に取り組みで参りますので引き続きよろしくお願ひします。(記事 指導力開発委員会委員長 網代木秀太) (取材 日野浩爾)



広島ブロックアカデミー
 日時：五月三十日(土)
 場所：竹原市 大久野島

新たな仲間たちが竹原に集う

このアカデミーは、広島県内各地青年会議所の新入会員が一泊二日のプログラムを体験することで、親睦を図り、さらには、地域のために率先して行動する人材になって頂くことを目的としています。今回私は既存会員としての参加でしたが、新入会員の熱い思いに触れ、気持ちを新たにすることが出来ました。読者の皆様も是非青年会議所に入会頂き、熱い事業に参加してみませんか！(記事 高橋央史)



地区コンファレンス2015 呉
 日時：八月九日(日)
 場所：呉市 海上自衛隊 呉教育隊 体育館
 大和波止場公園・他

地域復興を目指し 士気高揚

呉の地にて、「地域復興への船出！大和の故郷で54のちからがイノベーションを起こす！」をテーマに、中国地区コンファレンスが開催されました。会場では、元呉地方総監 伊藤俊幸氏の講演を拝聴し、領土領海における歴史的観点及び重要性について学びました。その他、若い世代から考える竹島・尖閣・北方領土問題についての講演、島谷ひとみさんのオリジナルライブや、青空の下での懇親会もあり、大変盛況な一日となりました！(記事 高橋央史)



一般社団法人大竹青年会議所 2015年 5月～8月 活動報告



ピッツアがつなぐ人の和

五月例会（家族例会） 総務広報委員会
 日時：五月十七日(日)
 場所：大竹市 フレイパーク蛇喰

日頃の青年会議所活動に対し、「ご理解とご協力を頂いている会員のご家族をお招きし、一・共通の掛け替えのない思い出を作り、JCを身近に感じて頂くこと」
 二・青年会議所で活躍する会員としての姿を見せ、懇親を深めること」
 右の二つの目的を掲げ開催致しました。当日は、普段体験することできない石釜作りを用いた手作りピッツアを会員とご家族の皆様で調理。楽しい会食のひと時を共に過ごし、目的を達成致しました。私達総務広報委員会は、身近な人から遠くの人まで、大竹青年会議所の活動と理念がしっかりと伝わっていく様、これからも力強く発信していきたいと思っております。（記事 総務広報委員会委員長 藤野広志）（取材 日野浩爾）

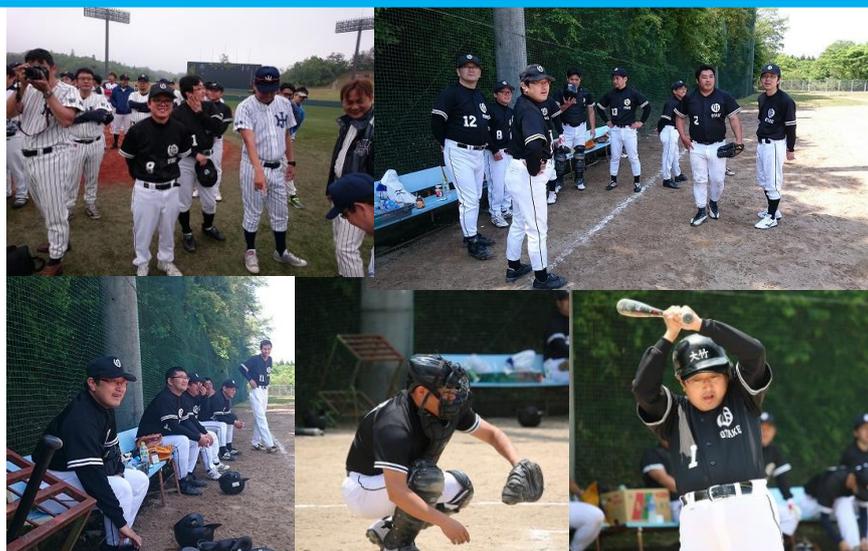


大竹魅力発信のリーダーを目指せ！

七月例会 地域創生委員会
 日時：七月七日(火)
 場所：大竹市 大竹商工会議所四階ホール

大竹市は、「豊かな自然」「歴史と伝統あふれる文化」「産業の発展」「広島県の西の玄関」「市民参加の事業」など、多くの特徴と魅力を活かしながら成長してきた歴史があります。しかし、それらが大竹市内外に十分に伝わっていない現状があります。そこで、我々大竹青年会議所会員が先頭に立ち、大竹市の魅力を発信するという意識を持つために、本例会を開催し、参加した会員が、「わがまちを語る・誇ることができ、それを発信できる人材となるよう、大竹市の魅力発信のプレゼンを考え発表しました。亀居城跡や栗谷地域など、大竹市に潜在する魅力の数々を、会員自身の視点からプレゼンすることで、改めて大竹市に対する愛着や誇りを確認致しました。わがまちには、誇れるものが沢山あります。それを多くの人々に向け会員から発信して頂き、地域住民の誇りや愛着に繋げていくことが、明るい豊かな社会へ繋がると確信しています。（記事 地域創生委員会委員長 小城和之）（取材 高橋史史）

最高のチームワークで勝負
 我が大竹青年会議所は、なんと・・・！予選敗退・・・ですが、五月の爽やかな空気の下、気持ちの良いフミアプレーができました。当会議所が優勝するためには、読者の皆様の力が必要ですよ！来年は是非青年会議所に入会いただき、我々と共に優勝を目指して頑張りましょう！（記事 高橋史史）



中国地区野球大会 広島プロック予選大会
 日時：五月九日(土)
 場所：三次市 きんさいスタジアム・他